

## 2 注意事項

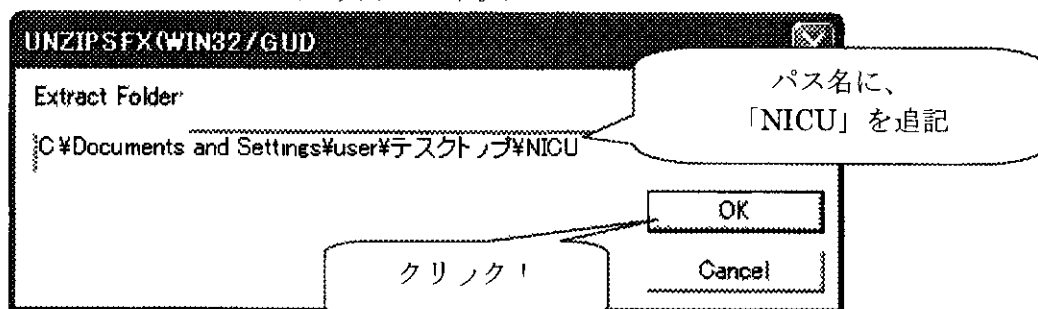
### 2.1 諸注意

- ① 本システムをご利用になられるには、「ファイルメーカーPro5」以上か別途必要となります。
- ② 「ファイルメーカーPro」のご利用方法につきましては、ソフトウェア付属資料等を参照願います。
- ③ ご利用になられるコンピュータの環境、OSによって画面の表示、メッセージ等か本資料とは異なる場合があります。コンピュータの操作方法等につきましては、ご利用のコンピュータの付属資料等を参照願います。
- ④ 意図的なスクリプト、レイアウト及びその他設定の変更・改変等による不具合に関しましては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⑤ スクリプトの内容及び「ファイルメーカーPro」及び「入力支援ソフトウェア」に関する技術的なお問い合わせにつきましては一切対応しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⑥ 「Filemaker」「ファイルメーカー」はFilemaker Incの登録商標です。

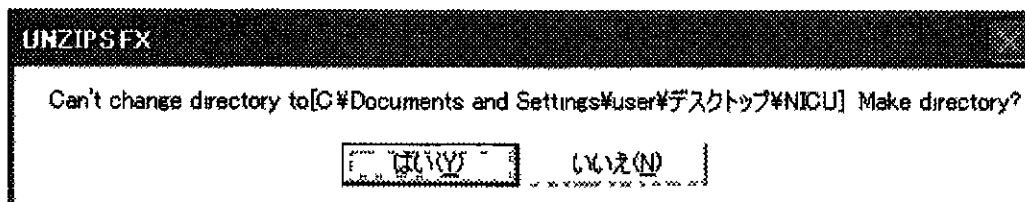
### 3 入力支援ソフトウェアのセットアップ

#### 3.1 入力支援ソフトウェアのセットアップ

- ① 入力支援ソフトウェアの CD を、PC のドライブへ挿入します。
- ② 任意の場所へ「NICU210 EXE」(Macintosh の場合は「NICU210 sea」)ファイルを保存します。(本書ではデスクトップ上へ保存する事を前提に進めます)
- ③ 「NICU210 EXE」ファイルを実行(ダブルクリック)します。
- ④ ダイアログが表示されますので、パスの最後に「NICU」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。パスで表示された場所へ、ファイルが展開されます。(Macintosh の場合、実行後、ダイアログの表示内容が異なります。)



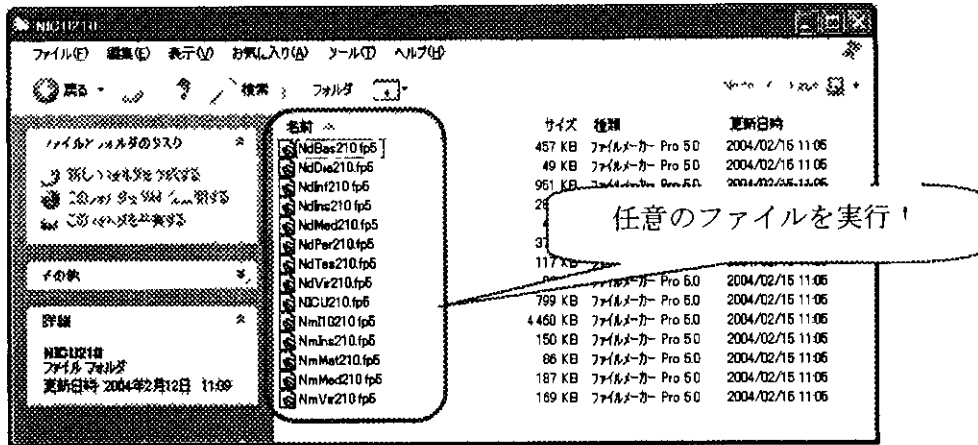
- ⑤ 指定したフォルダが存在しない場合、以下のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。(Macintosh の場合は、解凍終了後のダイアログで「Quit」をクリックします。)



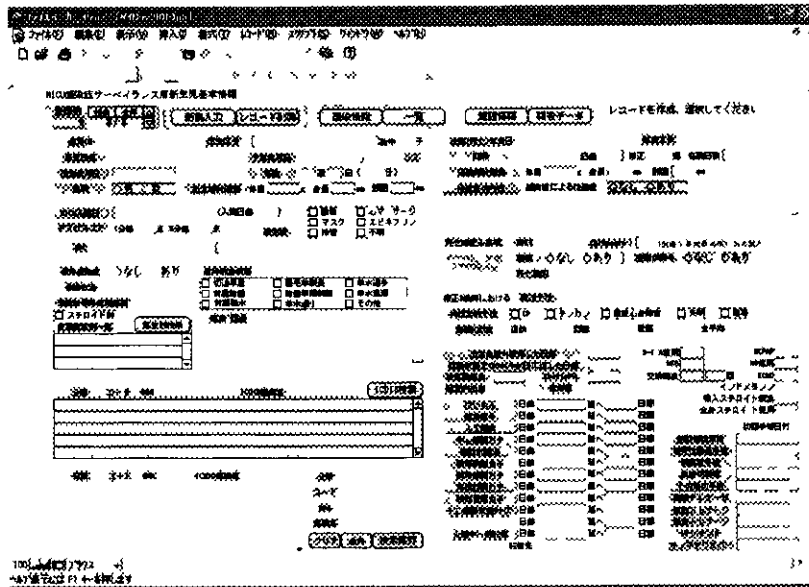
- ⑥ 以上でセットアップは完了です。

### 3.2 入力支援ソフトウェアの起動

- ① 作成された「NICU」フォルダを開きます。
- ② 「NICU」フォルダ内の任意のファイルメーカーファイルを実行（ダブルクリック）します。



- ③ 「入力支援システム」が起動します。

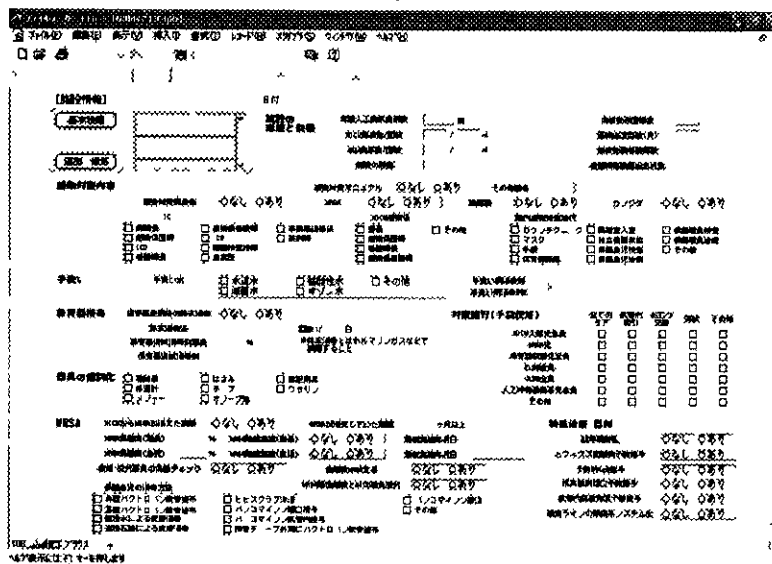
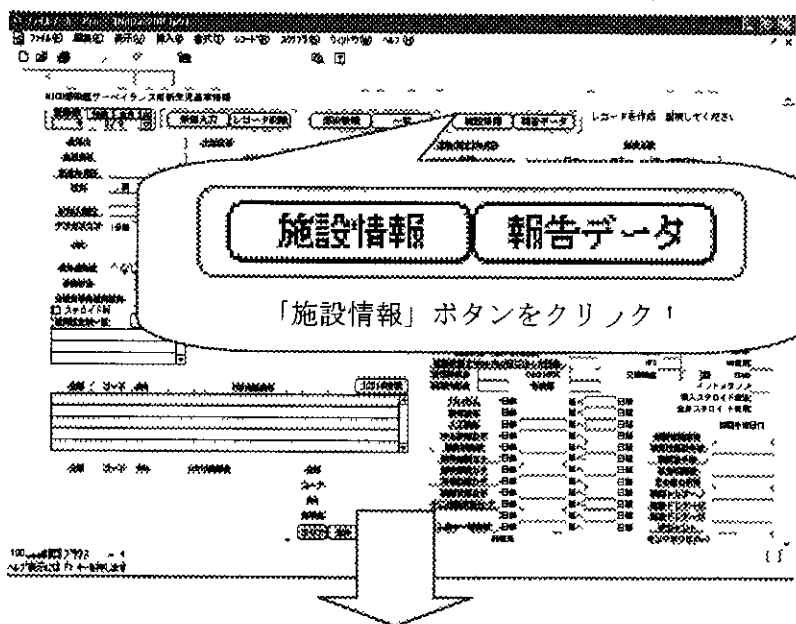


## 4 テータ入力

### 4.1 施設情報の入力

施設の状況等の設定を行います。

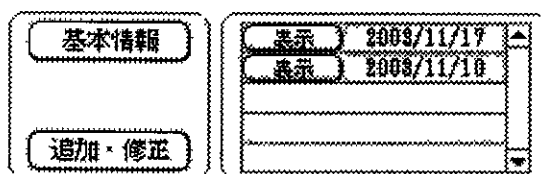
施設情報の入力を行うには、「基本情報」画面より、「施設情報」ボタンをクリックします。



「施設情報」画面へ移動します

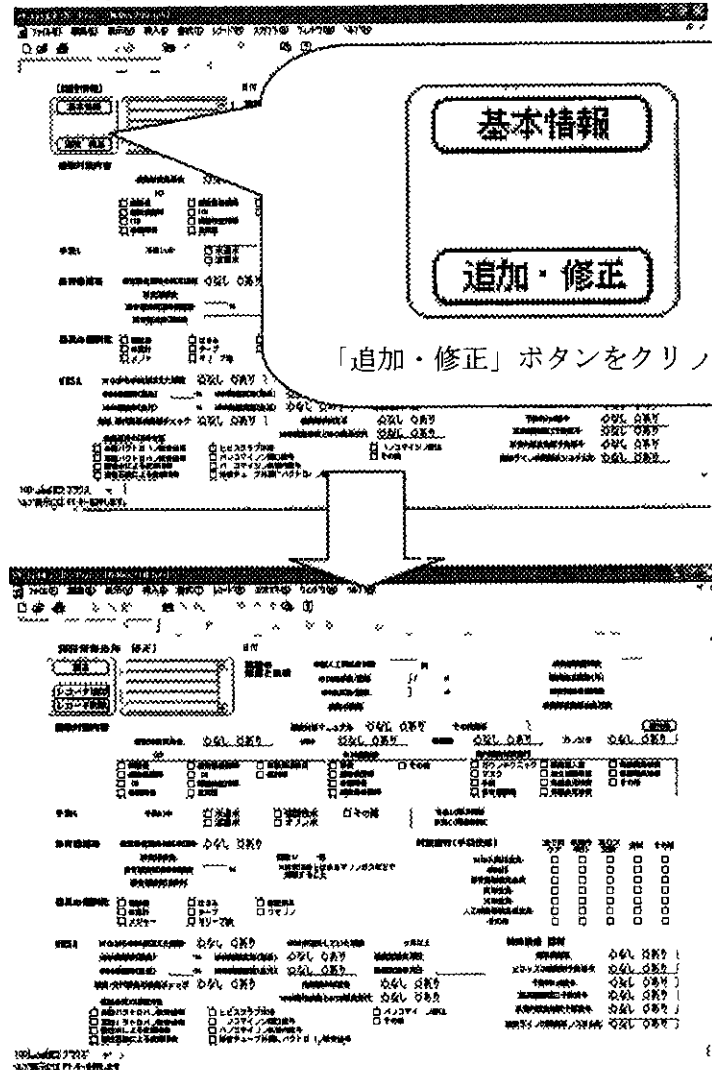
施設情報画面では、施設の状態を記録することが出来ます。過去にすでに登録がある場合、「入力内容一覧」に日付が表示されますので、「表示」ボタンをクリックすると、その日付の登録内容を閲覧することが出来ます。

#### 【施設情報】



## 4.1.1 施設情報の登録・修正

施設情報を登録、追加、変更する場合は、「施設情報」画面より「追加・修正」ボタンをクリックします。

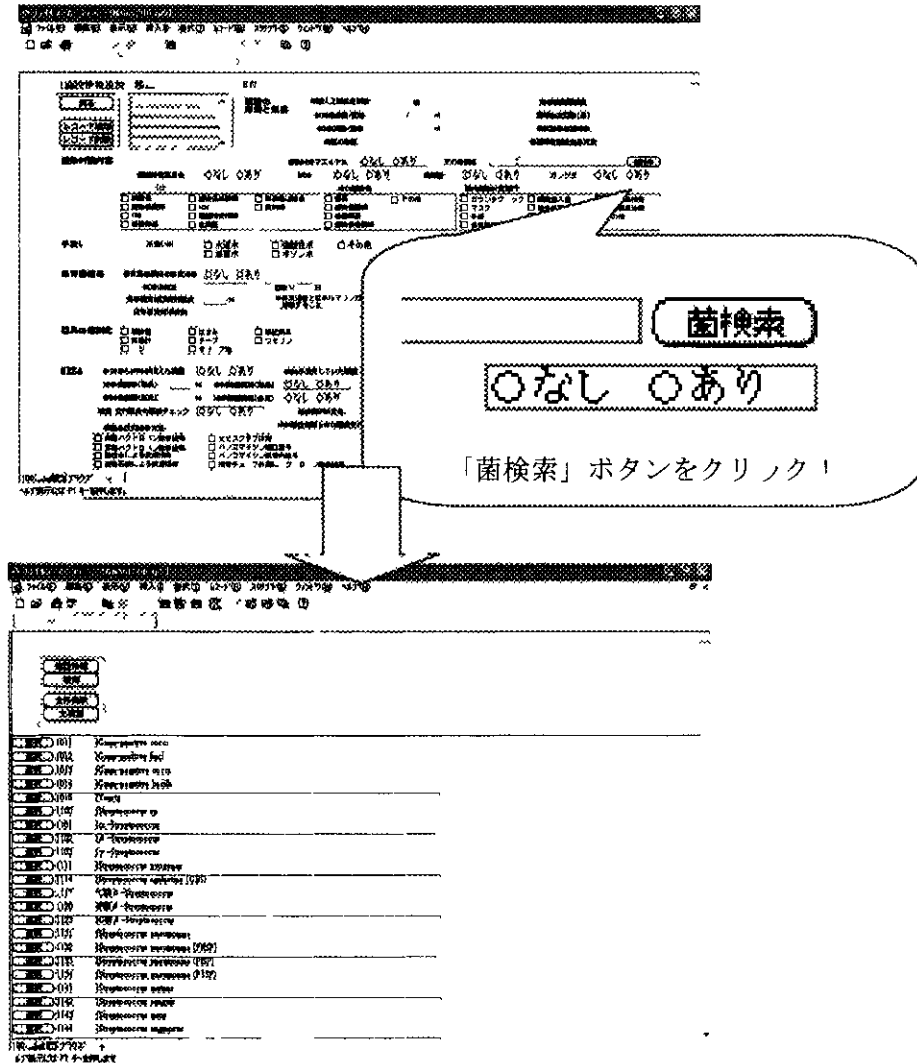


「施設情報追加・修正」画面へ移動します

施設情報を追加する場合は「レコード追加」ボタンをクリックしてください。施設情報を追加した場合、「日付」の初期値はシステム日付となっています。施設の状態を記録した日付に修正してください。また、過去の登録内容を修正する場合には、「表示」ボタンをクリックすることで該当する日付の内容が表示されますので、修正入力を行ってください。また、間違って入力を行った日付に関しましては、同しく「表示」ボタンをクリックすることで該当する日付の内容が表示されますので、選択後、「レコード削除」ボタンをクリックしてください。

## 4.1.2 菌コートの設定

菌コートを設定する場合は、「施設情報」画面より「その他菌名」ラベルボタンをクリックします。



## 「菌コート選択」画面へ移動

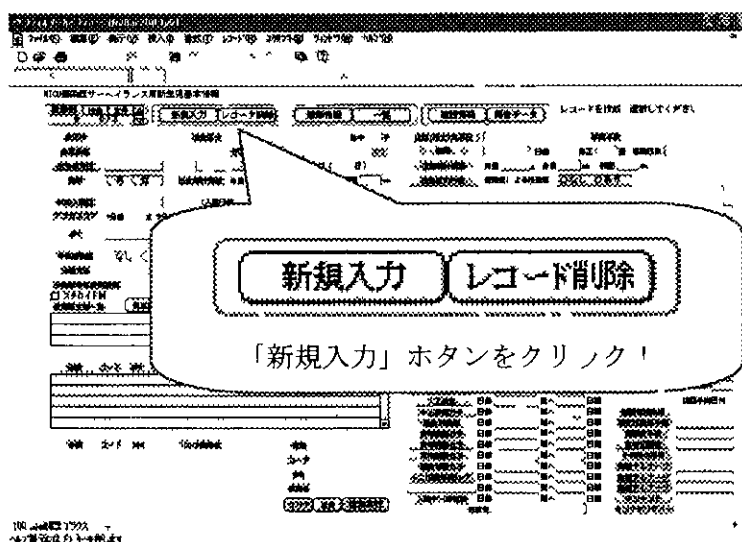
菌一覧が表示され、「選択」ボタンをクリックすることで該当の菌コートを登録します。「全件表示」ボタンをクリックすると、全菌コート（542件）が表示されます。「主要菌」ボタンをクリックすると、主要な菌コート（37件）が表示されます。また、「検索」ボタンをクリックすることで、「菌コート検索」画面へ移動します。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで、菌コートの検索を行い、検索結果が「菌コート選択」画面に表示されます。

## 4.2 基本情報の入力

入力支援ソフトウェアを起動すると、「基本情報」画面が表示されます。ここでは患児の情報や、入院情報等を入力します。また、各機能画面へ移動する場合も「基本情報」画面より行います。

### 4.2.1 基本情報の登録

基本情報の入力を行う場合、まずレコードの作成を行います。「新規入力」ボタンをクリックし、レコードを作製してください。また、誤って追加したレコードを削除したい場合は、該当のレコードにあわせ、「削除」ボタンをクリックしてください。ピンク色の項目は、サーベイランスにおいて入力必須項目です。一部の例外（転帰 軽快退院時、「死亡時特記事項」は入力しなくても問題ありません）を除き、該当するものは必ず入力を行ってください。また、一部の項目は、未入力は該当なしとみなされますのでご注意ください。画面右上の項目は、必ず入力を行わなくてはならない項目を表示します。こちらに何も表示されていない場合は、サーベイランスの入力項目を満たした状態となります。



### 4.2.2 日付の入力

日付の入力は、以下の形式の入力を受け付けます。

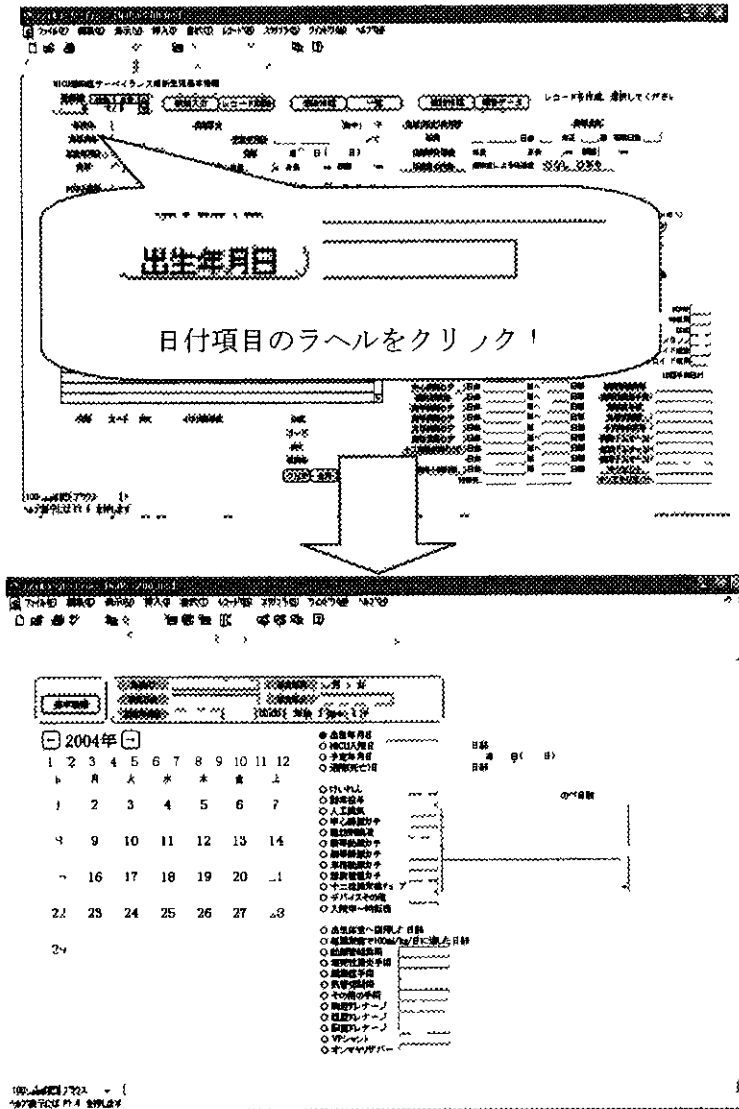
例)2003年10月10日の場合

- ・ 2003/10/10
- ・ h15/10/10(年号の対応 m 明治、t 大正、s 昭和、h 平成)

また、もうひとつの入力方法として、カレンダー機能があります。

### 4 2 3 カレンダー機能

日付項目のラベルをクリックすることで、カレンダー画面へ移動します。



#### 「カレンダー」画面へ移動します

カレンダー機能では、カレンダーを使用して日付の入力を行うことかてきます。カレンダー画面移動時は、「出生年月日」か入力されている場合は、出生年月を、未入力の場合はシステム日付より年月を表示します。「出生年月日」入力時には、日付右下に日齢が表示されます。項目のチェックボタンをクリックすることで、この患者に対する日付項目を連続して入力することかてきます（項目によっては日齢が設定されます）。けいれんやデバイスの挿入に関しましては、「開始日齢」と「終了日齢」の2つを設定する必要があります。両方を設定した後、日齢が計算され、その合計が設定されます。

項目	開始日	終了日	日齢	合計
けいれん				
酸素投与				
人工換気				
中心静脈カテ				
脇動脈カテ				
臍動脈カテ				
臍静脈カテ				
末梢動脈カテ				
臍静置カテ				
十二指腸栄養チューブ				
デバイスその他				
入院中一時転床				

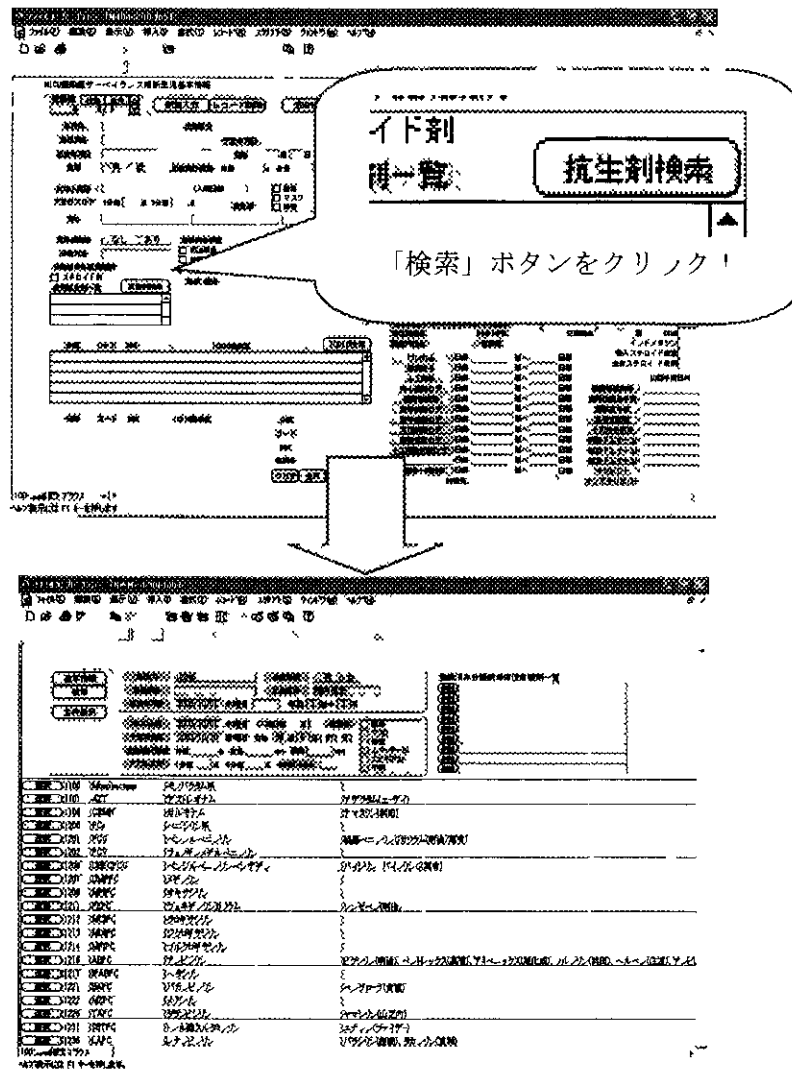


#### 4.2.4 予定年月日と在胎週・日

「予定年月日」を設定した場合、「在胎週」「在胎日」が自動的に設定されます。しかし、「在胎週」「在胎日」から設定した場合、「予定年月日」は自動的に設定されません。その場合、「在胎」ラベルボタンをクリックすることで、「予定年月日」を設定することかてきます。

#### 4.2.5 母体使用抗生剤の設定

「母体使用抗生剤」の登録は、以下の手順で行うことかてきます。  
「検索」ボタンをクリックすることで、「母体抗生剤選択」画面へ移動します。

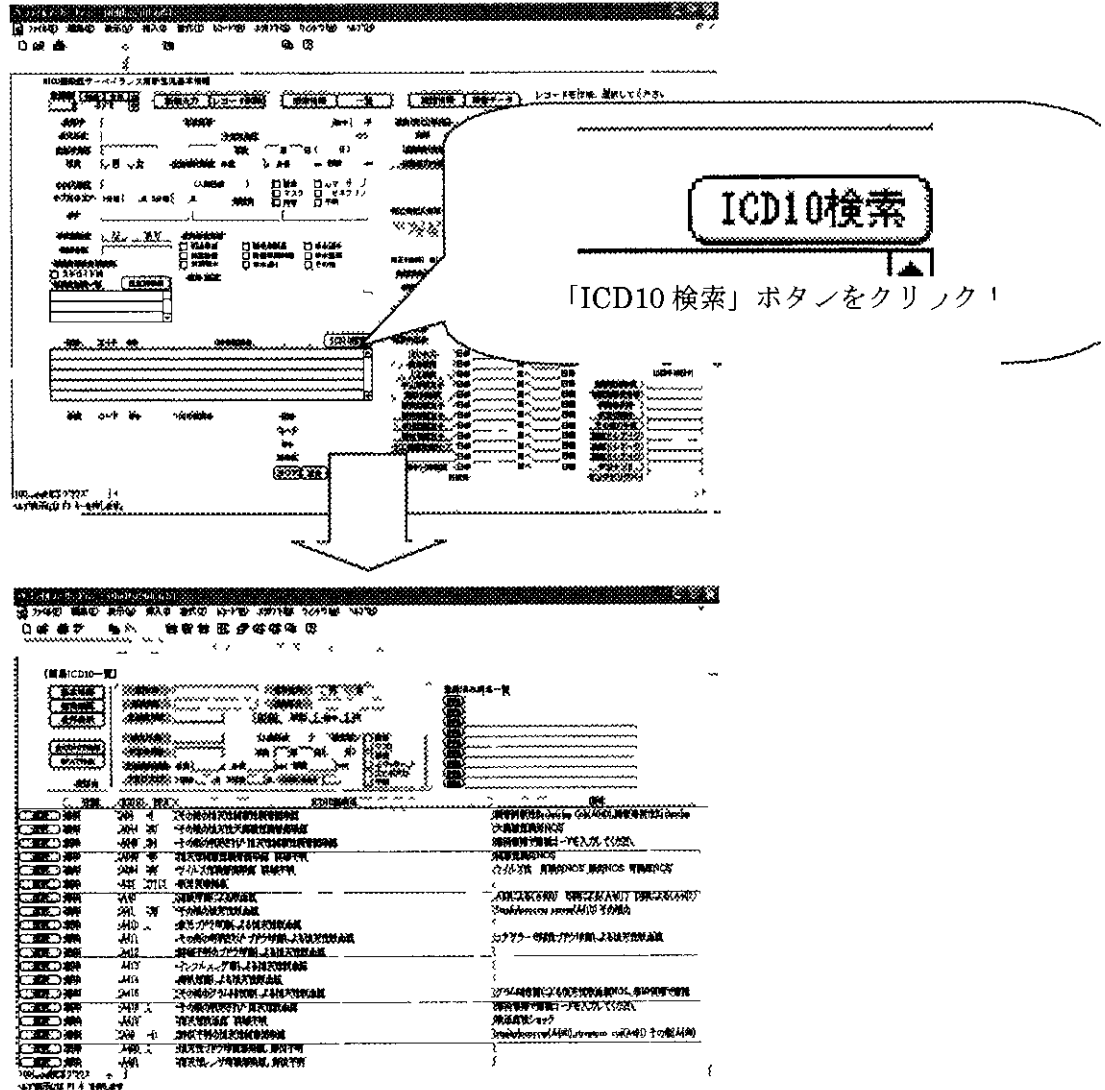


薬剤コートの一覧が表示され、「選択」ボタンをクリックすることで該当の薬剤コートを登録することかてきます。「全件表示」ボタンをクリックすると、全薬剤コート（248件）が表示されます。また、「検索」ボタンをクリックすることで、「薬剤コート検索」画面へ移動します。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで、薬剤コートの検索を行い、検索結果が「母体抗生剤選択」画面に表示されます。「選択」ボタンを連続してクリックすることで、薬剤コートを複数登録することかてきます。

## 4.2.6 ICD10 コートの設定

「ICD10 コート」の登録は、以下の手順で行うことができます。

「ICD10 検索」ボタンをクリックすることで、「ICD10 コート選択」画面へ移動します。



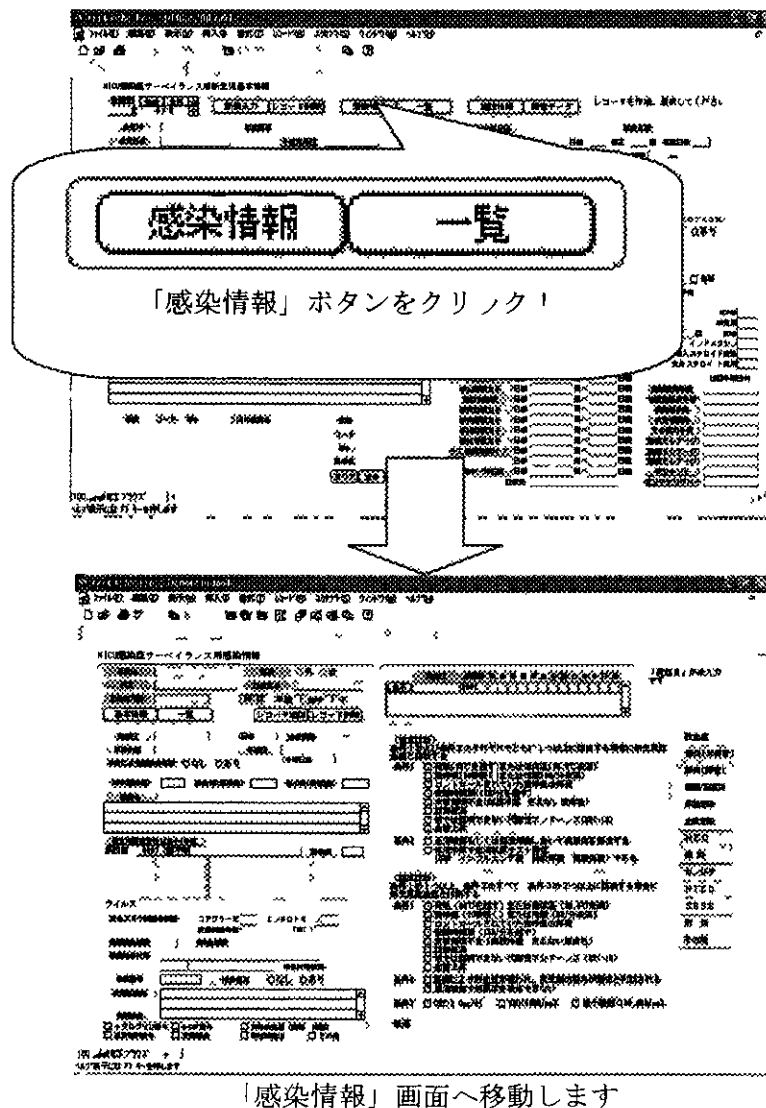
ICD10 コート一覧が表示され、「選択」ボタンをクリックすることで該当の ICD10 コートを登録することかできます。「全件表示」ボタンをクリックすると、全 ICD10 コート（882件 NICU 簡易版）が表示されます。また、「簡易検索」ボタンをクリックすることで、「簡易 ICD10 コート検索」画面へ移動します。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで、ICD10 コートの検索を行い、検索結果が「簡易 ICD10 コート選択」画面に表示されます。「選択」ボタンを連続してクリックすることで、ICD10 コートを複数登録することかできます。また、「全 ICD10 で検索」ボタンをクリックすることで、全 ICD10 コート（1571件）の選択が可能となります。「BPA で検索」ボタンをクリックすることで、BPA コート（1235件）での選択が可能となります。×BPA コートで選択した場合でも、登録は BPA コートに対応した ICD10 コートとなります。

## 4.3 感染情報の入力

### 4.3.1 感染情報の登録

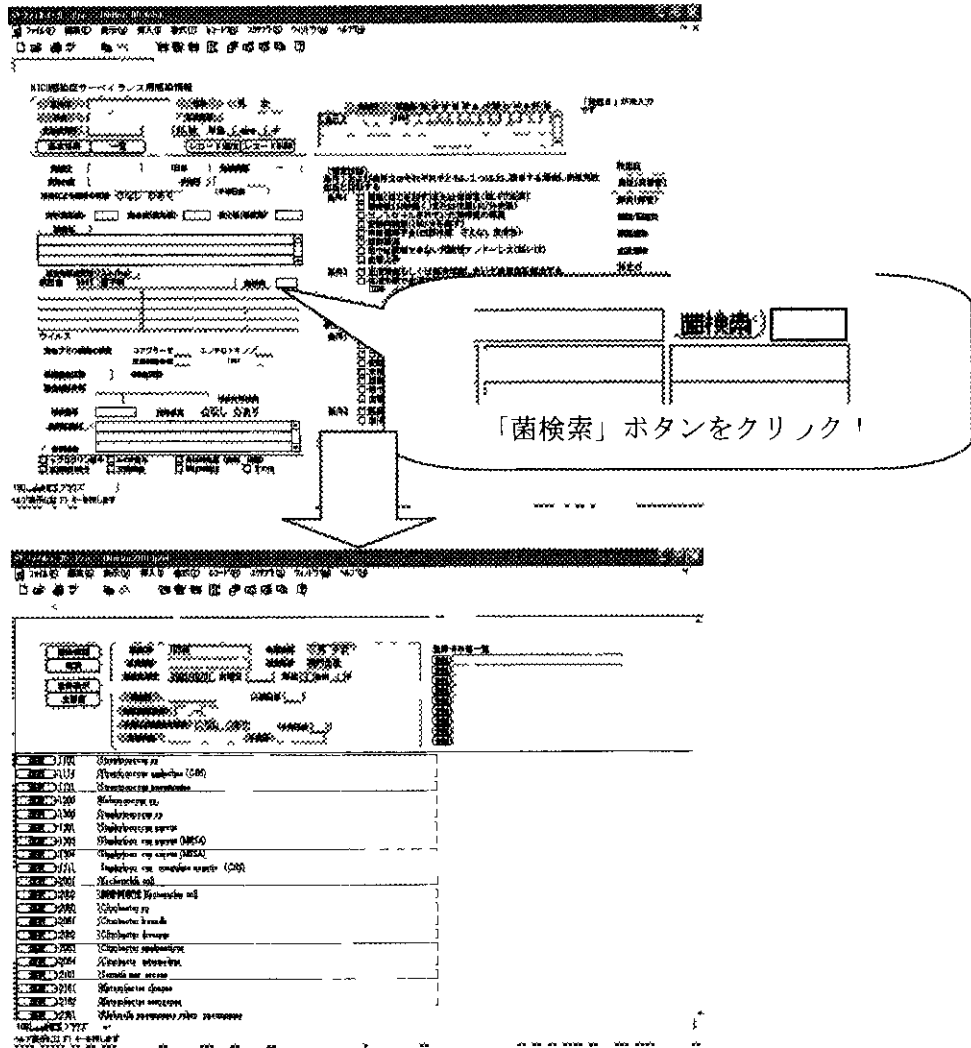
感染情報の設定を行います。

感染情報の入力を行うには、「基本情報」画面より、「感染情報」ボタンをクリックします。感染情報を入力する場合、画面移動時にレコードが自動的に作成されます。感染が2回以上生じた場合、「レコード作成」ボタンをクリックし、レコードを追加してください。また、誤って追加したレコードを削除したい場合は、該当のレコードにあわせ、「レコード削除」ボタンをクリックしてください。感染情報は全てが必須項目となります。一部の例外（原因菌 黄色ブドウ球菌以外の時、「コアグラッセ」は入力できません）を除き、該当するものは必ず入力を行ってください。また、一部の項目は、未入力は該当なしとみなされますのでご注意ください。画面右上の項目は、必ず入力を行わなくてはならない項目を表示します。こちらに何も表示されていない場合は、サーベイランスの入力項目を満たした状態となります。



## 4.3.2 菌コートの設定

菌コートを設定する場合は、「感染情報」画面より「菌検索」ボタンをクリックします。

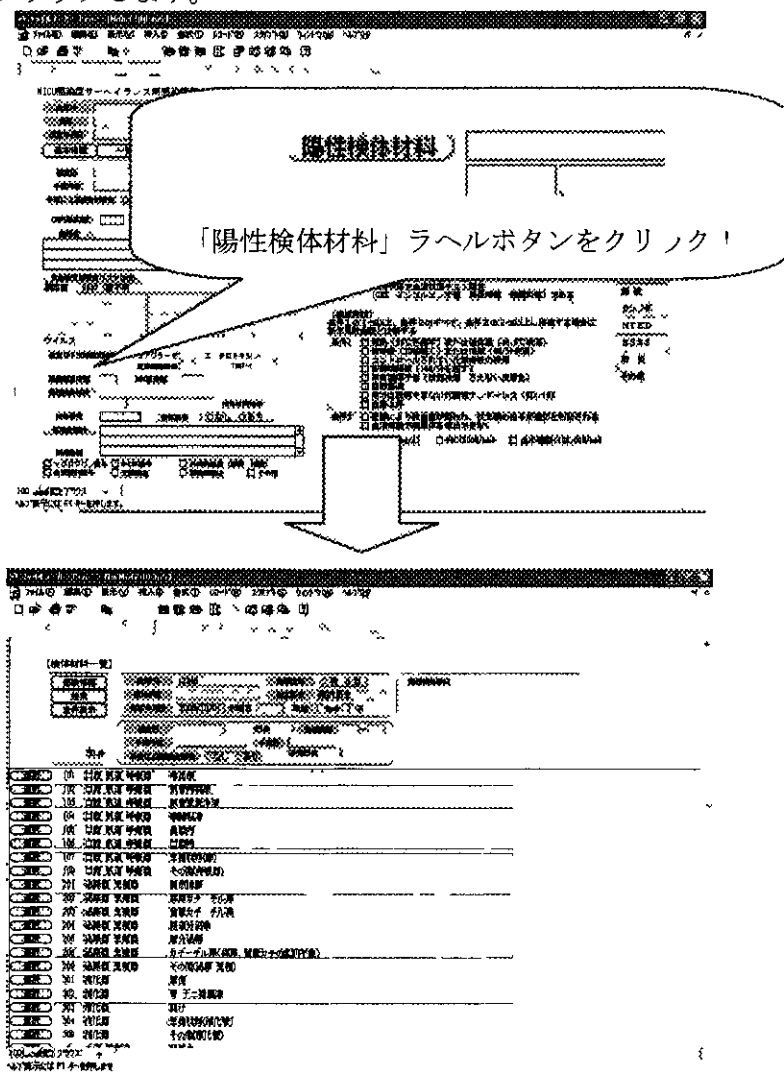


## 「菌コート選択」画面へ移動

菌一覧が表示され、「選択」ボタンをクリックすることで該当の菌コートを登録します。「全件表示」ボタンをクリックすると、全菌コート（542件）が表示されます。「主要菌」ボタンをクリックすると、主要な菌コート（37件）が表示されます。また、「検索」ボタンをクリックすることで、「菌コート検索」画面へ移動します。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで、菌コートの検索を行い、検索結果が「菌コート選択」画面に表示されます。「施設情報」設定時との違いは、菌を複数登録することができるところです。最後に設定された菌が原因菌として設定されます。菌が登録されていれば、原因菌を再度設定することも可能です。

### 4.3.3 陽性検体材料の設定

陽性検体材料コートを設定する場合は、「感染情報」画面より「陽性検体材料」ラベルボタンをクリックします。

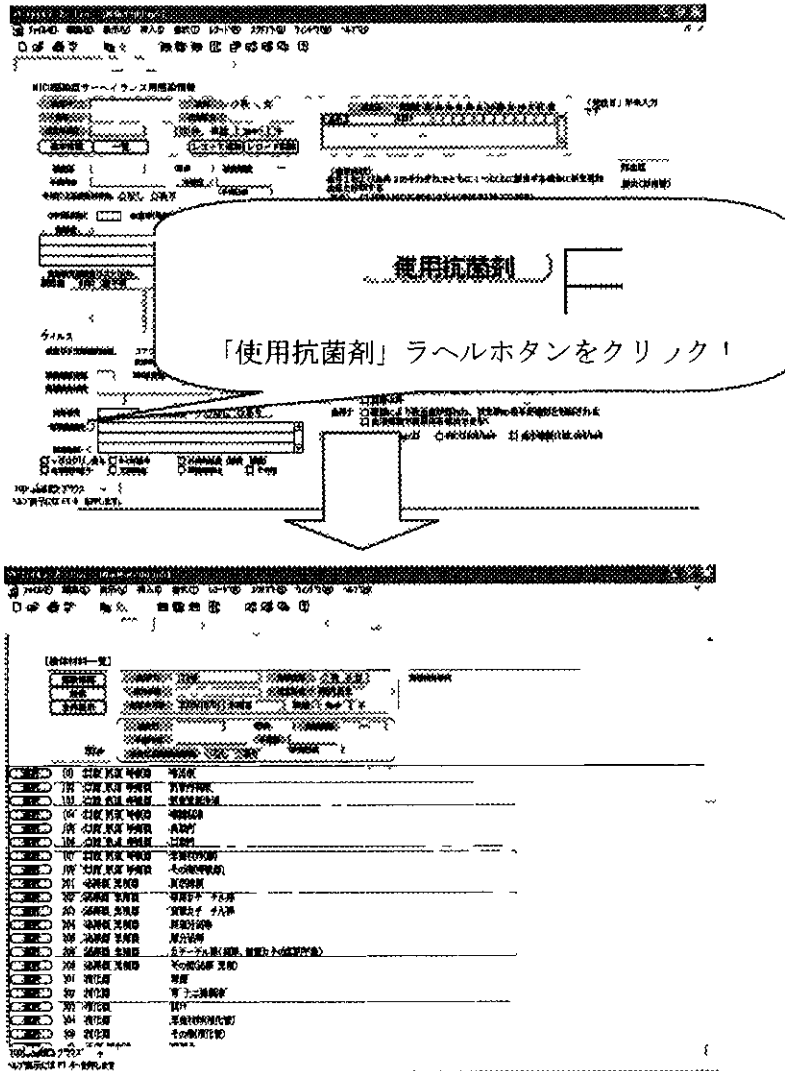


#### 「検体材料コート選択」画面へ移動

検体材料一覧が表示され、「選択」ボタンをクリックすることで該当の検体材料コートを登録します。「全件表示」ボタンをクリックすると、全検体材料コート（50件）が表示されます。また、「検索」ボタンをクリックすることで、「検体材料コート検索」画面へ移動します。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで、菌コートの検索を行い、検索結果が「検体材料コード選択」画面に表示されます。

## 4 3 4 抗菌剤の設定

抗菌剤コートを設定する場合は、「感染情報」画面より「使用抗菌剤」ラベルボタンをクリックします。



## 「薬剤コート選択」画面へ移動

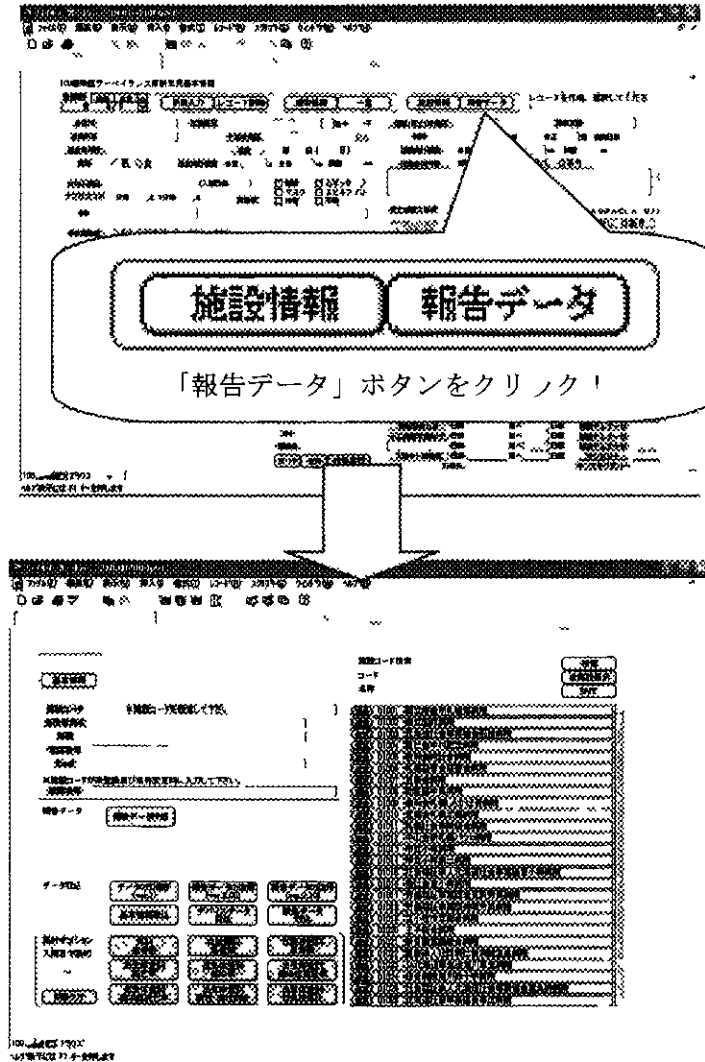
薬剤コートの一覧が表示され、「選択」ボタンをクリックすることで該当の薬剤コートを登録することかできます。「全件表示」ボタンをクリックすると、全薬剤コート（248件）が表示されます。また、「検索」ボタンをクリックすることで、「薬剤コート検索」画面へ移動します。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックすることで、薬剤コートの検索を行い、検索結果が「抗菌剤選択」画面に表示されます。「選択」ボタンを連続してクリックすることで、薬剤コートを複数登録することかできます。

## 5 報告データの作成

### 5.1 報告データ作成画面

報告データ作成を行います。

報告データの作成を行うには、「基本情報」画面より、「報告データ」ボタンをクリックします。



「報告データ作成」画面へ移動します

## 5.2 報告データの作成

まず、施設コードや連絡先等の情報を入力します。

施設コードは、画面右の施設コード一覧の「選択」ボタンをクリックすると、該当の施設コードが設定されます。一覧に施設コードがない場合、直接入力をしてください。そして、施設名称に施設の名称を必ず入力してください。

施設コードが未入力の場合は報告データの作成はできません。

施設コード: [×施設コードを設定して下さい]

養育者氏名: \_\_\_\_\_

性別: \_\_\_\_\_

電話番号: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

×施設コードが未登録及び名称変更時に入力して下さい。

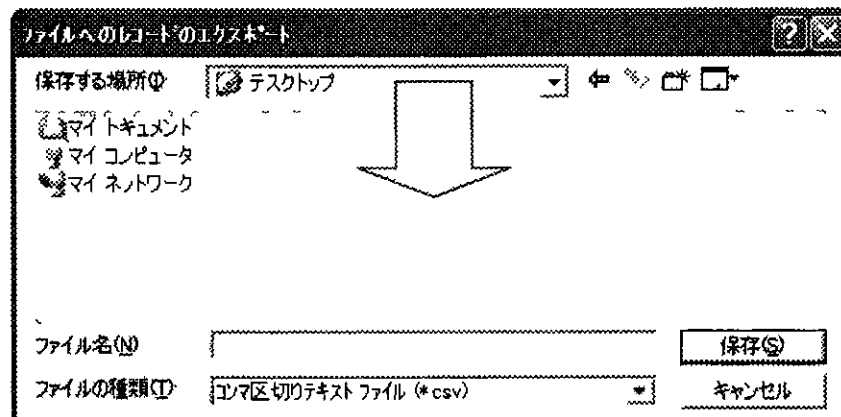
施設名称: \_\_\_\_\_

入力が終わりましたら、「報告データ作成」ボタンをクリックしてください。

報告データ

報告データ作成

「報告データ作成」ボタンをクリック！



ダイアログが表示されますので、任意の場所にファイルを保存してください。



## 5.3 その他の機能

## 5.3.1 簡易集計機能

それぞれのボタンをクリックすることで、入力されたデータの集計をとります。期間を指定することで、その期間における集計を行います。期間を指定しない場合は、全データが対象となります。

集計オプション 入院日で集約 ~ 期間クア	月別患者数	在院日別患者数	在院日別患者数
	出生体重別死亡率	出生体重別死亡率	出生体重別感染症発症率
	出生体重別感染症死亡率	出生体重別前住感染割合	出生体重別器具使用比

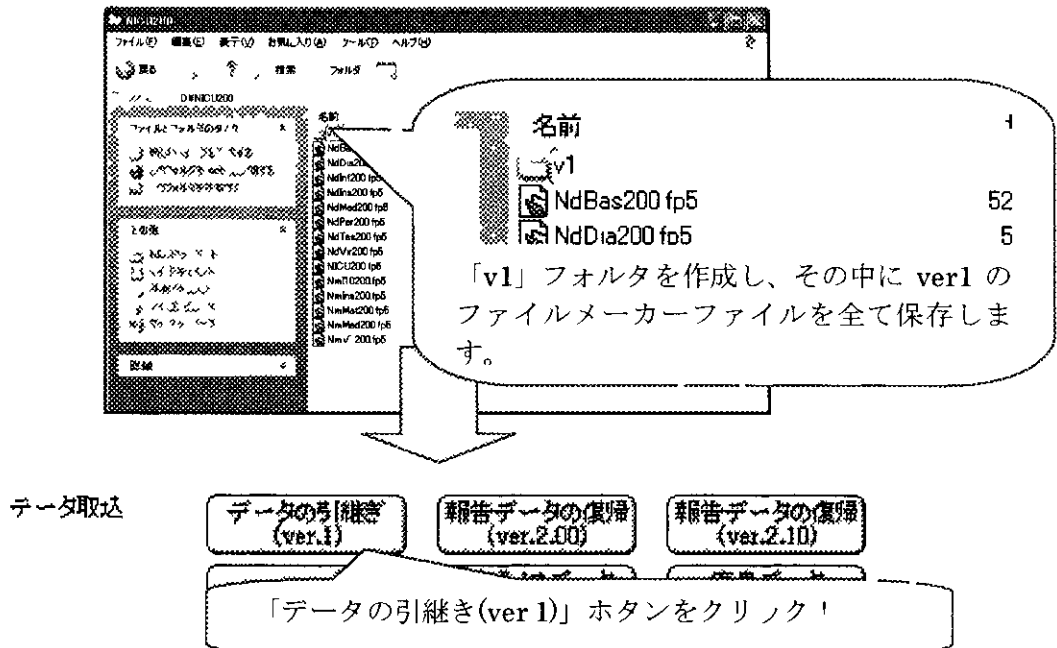
## 【月別患者数】

戻る	全入院患者数	37
	男子合計	15
	女子合計	22

出生月	男	女	合計	全体比
5月	0	3	3	8.11%
6月	2	3	5	13.51%
7月	2	5	7	18.92%
8月	6	9	15	40.54%
9月	5	1	6	16.22%
10月	0	1	1	2.7%

## 5.3.2 ver1 からのデータ取込

ver1 で入力したデータの取り込みを行います。セットアップ時に展開したフォルダ内に「v1」というフォルダを作成し、その中に ver1 のファイルメーカーファイルをコピーします。その後、本システムを起動し、「報告データ作成」画面より「データの引継ぎ」ボタンをクリックします。



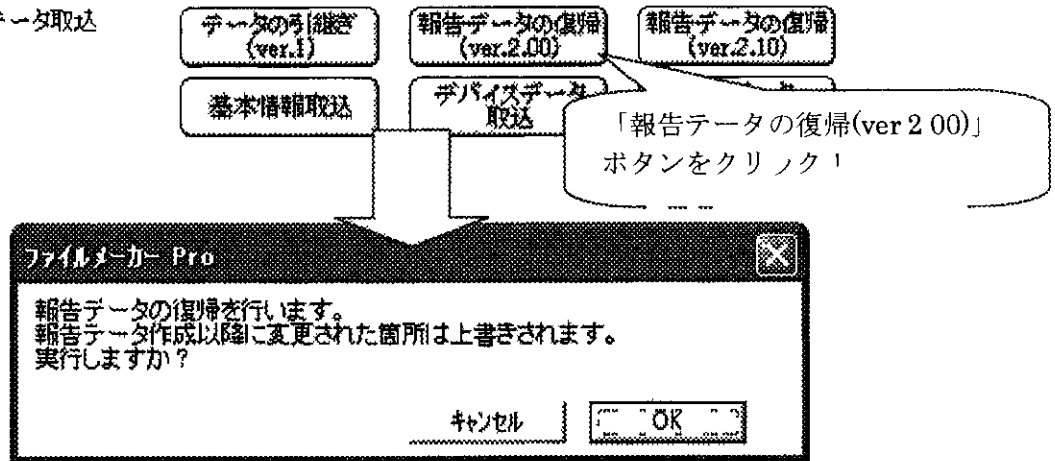
※データの引継ぎを行う場合、ver1 ファイル内のデータが全て参照できる状態にある必要があります。ver1 の全ファイルに対し、メニューバーの「ウインドウ(W)」よりファイル名を指定し、メニューバーの「レコード(R)」より「全レコードの表示」を実行してください。詳細な操作方法につきましては、ファイルメーカーpro のマニュアル等を参照してください。

## 5.3.3 報告データからのデータ取込

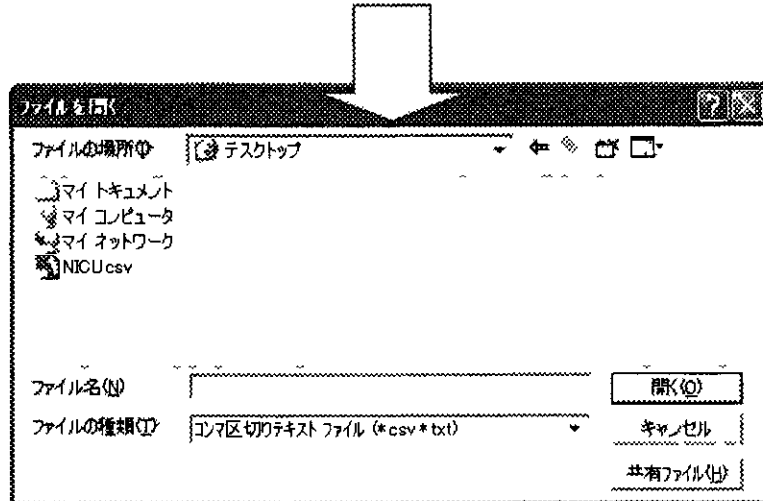
1 度出力を行った報告データからデータの取り込みを行います。

「報告データ作成」画面より、「報告データの復帰」ボタンをクリックします。

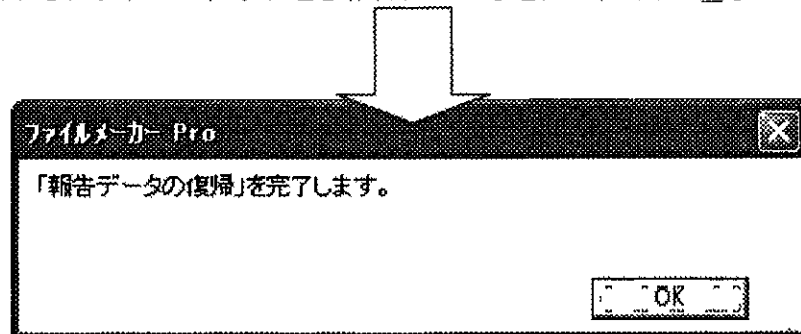
データ取込



確認のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



ダイアログが表示されますので、取り込む報告データを選択し、「開く(O)」をクリックします。

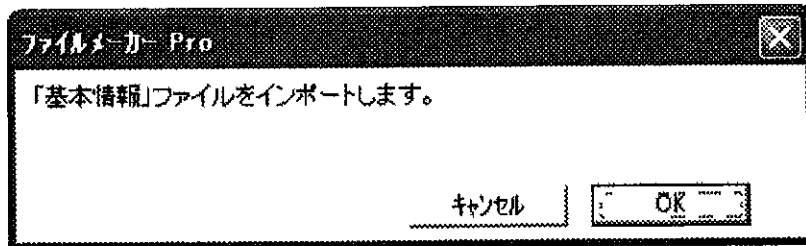
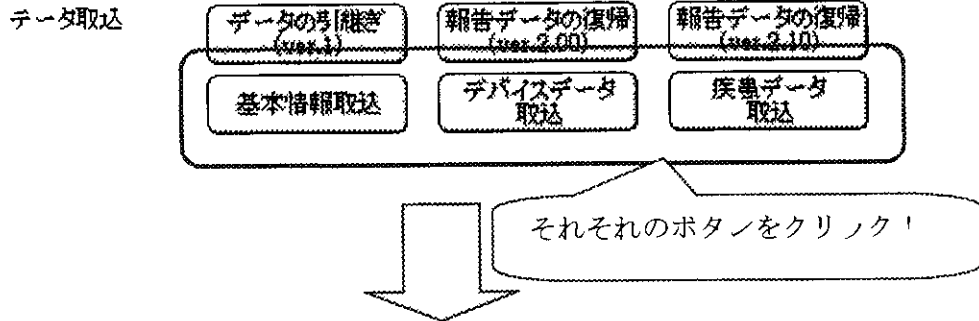


メッセージが表示され、動作を完了します。

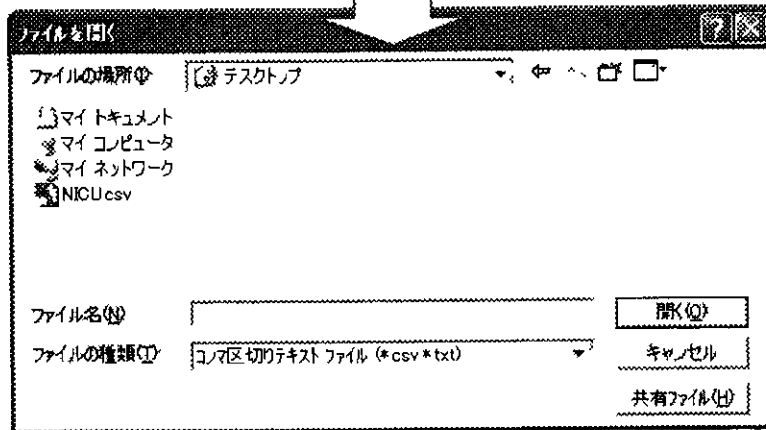
- ※ ver1 からの報告データの復帰はできません。
- ※ ver210 からの報告データの復帰は「報告データの復帰(ver2 10)」をクリックしてください。

### 5 3 4 外部ファイルからのデータ取込

外部の CSV ファイルからデータの取り込みを行います。  
 必要に応じて枠内の任意のボタンをクリックしてください。  
 ファイル形式は、別途「データ取込ファイルフォーマット」を参照してください。



確認のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



ダイアログが表示されますので、取り込むファイルを選択し、「開く(O)」をクリックします。

